

令和5年度愛知県立安城高等学校推薦選抜実施要項

1 出願資格

本校生活文化科の推薦選抜に出願することのできる者は、次の(1)から(3)までの全ての条件及び「2 推薦基準」を満たし、中学校長（義務教育学校及び中等教育学校の校長を含む。以下同じ）の推薦を得た者とする。

- (1) 令和5年3月に中学校若しくは義務教育学校を卒業する見込みの者、又は中等教育学校の前期課程を修了する見込みの者
- (2) 本校生活文化科を志望する動機・理由が明白・適切で、当該学科に対する適性及び興味・関心を有すること。
- (3) 人物及び学習成績が優れていること。

2 推薦基準

- (1) 「① 人物が優れており、運動、文化、芸術、奉仕活動等の諸活動（特別活動及び総合的な学習の時間における活動を含む）のいずれかにおいて優れた能力・適性及び実績等を有する者」として、本校生活文化科の教育課程を履修する学力を有するとともに、次の事項のいずれかに該当すること。

ア 運動に関する活動等に意欲的に取り組み、正選手として市内大会等において優秀な成績を収めた者、又は地区大会（西三河大会・東三河大会等）以上の公式大会に正選手として出場し上位入賞した者、又は地区大会への出場を目指して努力した結果、それと同等の成果が認められる者

イ 武道において段位を有する者、又は初段の取得を目指して努力した結果、それと同等の成果が認められる者

ウ 文化、芸術に関する活動等に意欲的に取り組み、県レベル以上の各種公式の競技会又はコンクール等において優秀な成績を収めた者、又は更なる向上を目指して努力した結果、それと同等の成果が認められる者

エ 3年間部活動に意欲的に取り組み、リーダーとして部の活動に特段の貢献をした者

オ 地域の奉仕活動に継続的に取り組み、地域から認められる顕著な活動をした者

カ 生徒会役員を務める等、特別活動において顕著な活動実績のある者

キ 総合的な学習の時間において、独創的な研究や継続的な活動に取り組み、その成果を学校の内外において発表する等優れた活動実績が認められた者

ク 英語に関する資格試験において、実用英語技能検定3級以上又は同程度の資格を有する者、又はその取得を目指して努力した結果、それと同等の成果が認められる者

- (2) 「② 人物が優れており、恵まれない環境を克服し、向学心に富み、生活態度が他の模範となる者」として、本校生活文化科の教育課程を履修する学力を有するとともに、保護者又は志願者が「令和5年度愛知県公立高等学校入学者選抜実施要項」に示す「『恵まれない環境』に該当する事由及び証する書類」の事由のいずれかに該当すること。

(3) 「㊤ 人物が優れており、『調査書』の『学習の記録』が優秀で、学習活動において他の模範となる者」として、次の事項のいずれかに該当すること。

ア 入学後も各教科・科目の学習に対する意欲が旺盛で、学習面でのリーダーとなり、継続的に努力できる者

イ 学習の基礎・基本を身に付けていて、探究心が旺盛で、入学後もより高度な学習に取り組む意欲のある者

(4) 本校の推薦選抜において特に重視すること

ア 将来に向けて明確な進路希望をもち、その実現に向けて粘り強く取り組むことができること。

イ 学習に真面目に取り組むとともに、部活動にも積極的に参加し、活動する意欲があること。

ウ 本校生活文化科で学ぶ分野への関心が高くチャレンジ精神が旺盛で、資格取得や地域における活動などに積極的に取り組む意欲があること。

3 合格者数

推薦選抜の合格者は、本校生活文化科の募集人員の30%程度から45%程度とする。

なお、「人物が優れており、恵まれない環境を克服し、向学心に富み、生活態度が他の模範となる者」の募集については、当該学科の募集人員のおおむね5%とし、上記に含む。

4 出願の手続き

出願に当たっては、「推薦選抜入学願書」、「調査書」、「推薦書」等の必要書類を、次の期日に本校に提出する。

令和5年2月1日（水）及び同年2月2日（木）

受付は、2月1日（水）は9時から16時まで、2月2日（木）は9時から15時までとする。（郵送による場合も、提出締切日時までに必着のこと）

5 面接の実施期日

令和5年2月6日（月）

なお、個人面接で行う。

6 合格者の発表日時及び方法

令和5年2月8日（水） 14時

ウェブページ及び掲示により合格者を発表し、中学校長を通じて本人に通知する。

7 その他

面接に関する具体的な注意事項は、受検票（願書受付のとき交付）とともに配付する受検案内を読むこと。